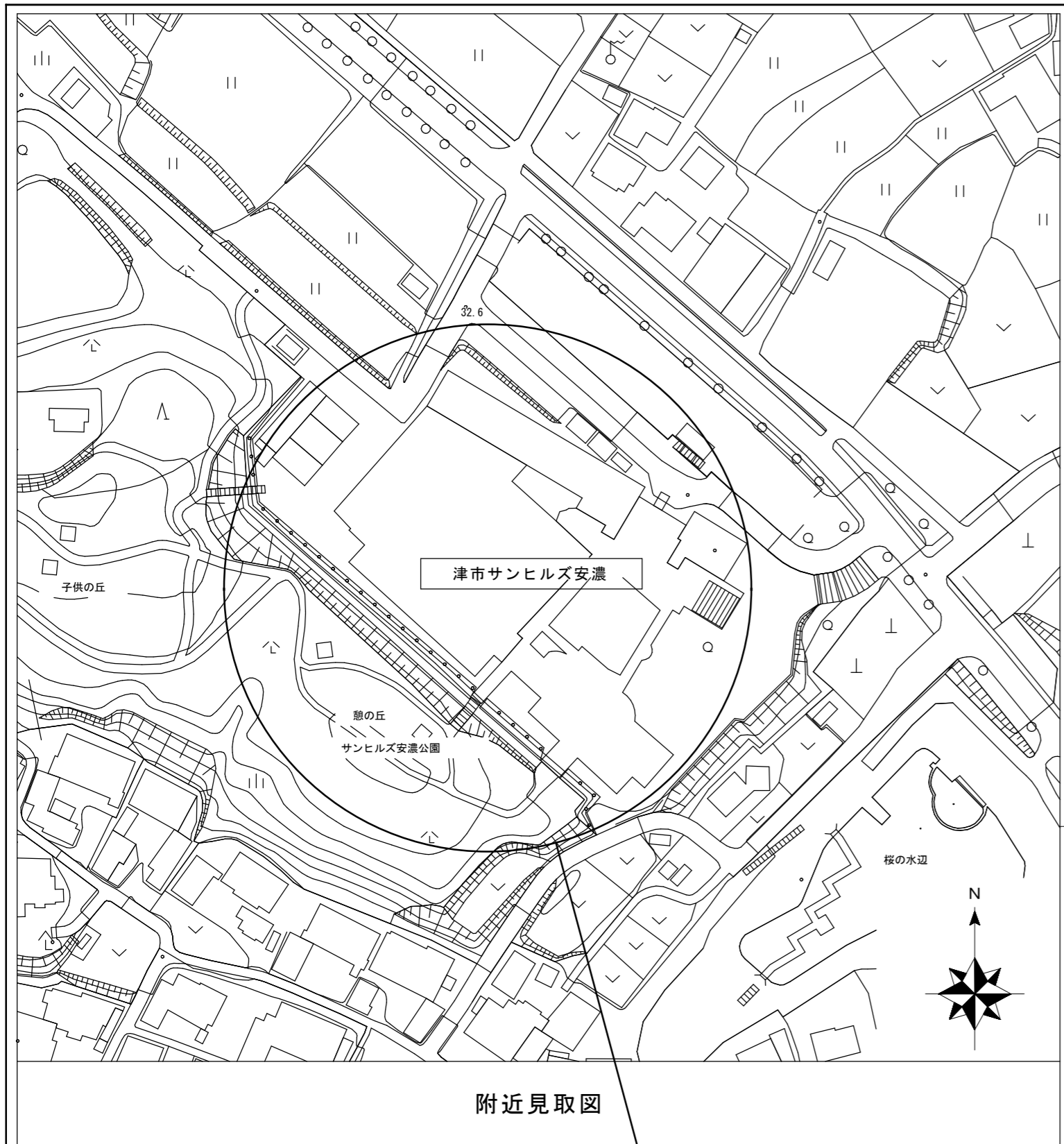


津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール舞台照明設備改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
E-01	電気設備工事特記仕様書（1）
E-02	電気設備工事特記仕様書（2）
E-03	電気設備工事特記仕様書（3）
E-04	付近見取図・配置図
E-05	舞台照明設備 特記仕様書・機器仕様書（1）
E-06	舞台照明設備 機器仕様書（2）
E-07	舞台照明設備 姿図・系統図
E-08	舞台照明設備 1階平面図
E-09	舞台照明設備 2階平面図
E-10	舞台照明設備 3階平面図

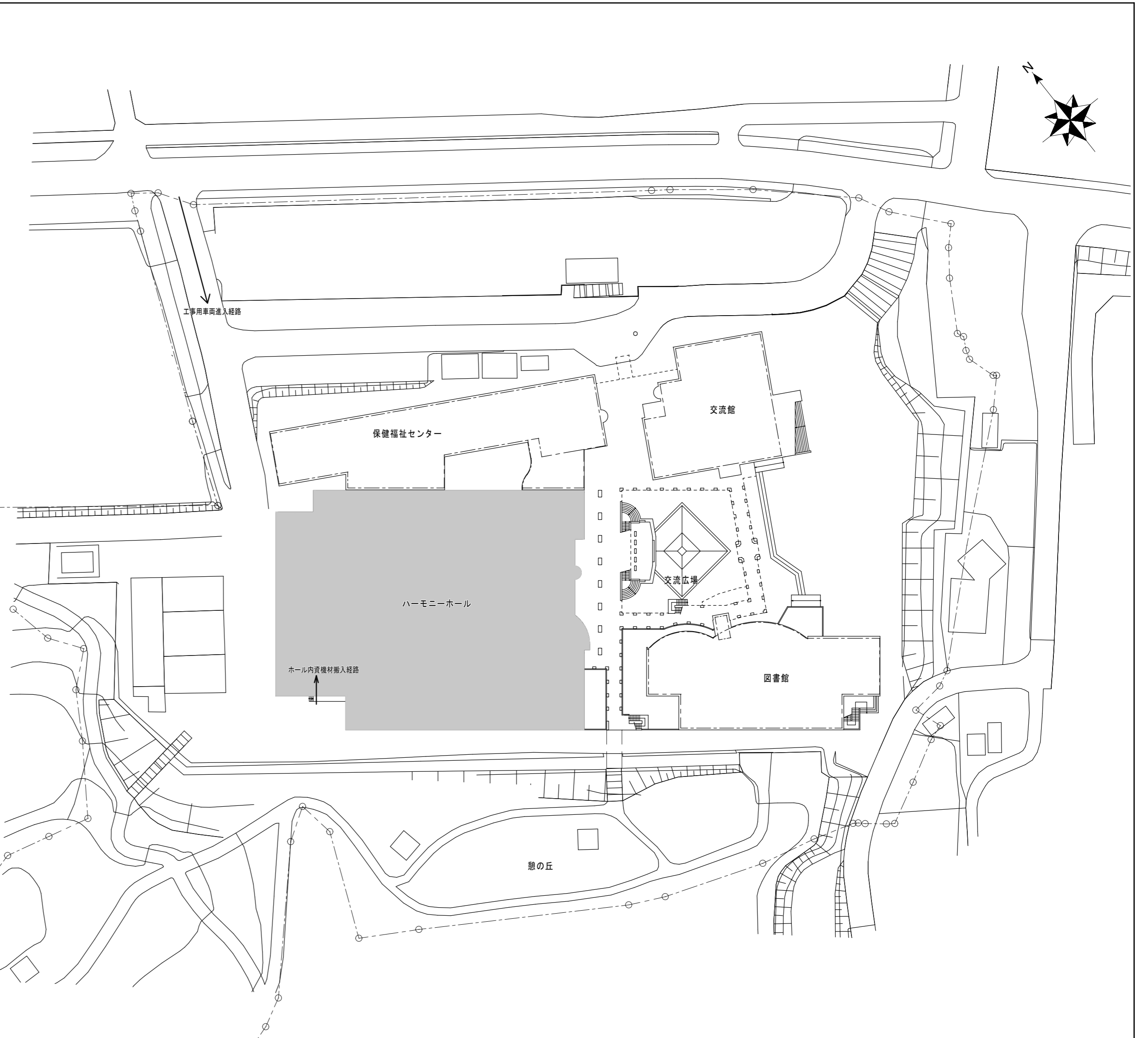
<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電線の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合は、絶縁棒とする。 (5) カーブプレートは、原則として銅製とする。 なお、導管を固定しない位置で施工には別途表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リフ付）とする。</p> <p>21. 照明器具の設置</p> <p>(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。（乾燥した場所のコンパクト形器具（27W以下）を除く。） (2) 接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯（緑色）を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線（緑線）を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (5) 天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) ハイブリ吊りの照明器具は撤止めを施工する。</p> <p>22. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定回数（ ）回</p> <p>23. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 屋外キュービクルで露出配管をボックスに接続する場合は、カブリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。</p> <p>24. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には風管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>25. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>26. 電波関係の計算及び測定</p> <p>(1) 計算書の提出 電界強度測定結果による計算書を提出 ・施工前 ・躯体上がり時 ・その他（ ） (2) 測定の実施 1) 項目 全帯域チャンネルの電界強度、受像面質、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 ・施工前 ・躯体上がり時 ・施工後 ・その他（ ） 2) 測定時期 ・施工前 ・躯体上がり時 ・施工後 ・その他（ ） 3) 報告書提出部 ・2部（ ）部</p> <p>27. 土工</p> <p>(1) 埋戻しの材料及び工法 ・B種（材料：切切り土中の良質土 / 工法：機器による締固め） ・その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、G L-600mm以上とする。 (3) 切切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電装置及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はほぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を低くしないようにする。</p> <p>28. ハンドホール、マンホール</p> <p>(1) 地中線路及びハンドホール等次下が考慮される場合は、次下対策を施す。 (2) 地耐力は、建築基準法施行令第33条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 (3) 高さ900mmを超えるものについては、タフ付とする。 なお、タフの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び進出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の掘削箇所 ④ 道路掘削箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> <tr> <td colspan="2">【電力設備】</td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td>(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設等との取り合い</td> <td>・無し ●配線接続 ・電源供給 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯（単独設置） ・コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td>1) 形式 ・公共型 ●一般型 2) 灯具 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・HID灯 ・その他（ ） 3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防炎用 4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がフロアランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他（ ） 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯（単独設置）</td> <td>1) 照明用ポール ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他（ ） ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・その他（ ） 4) 安定器 ・電圧高力率形（BH） ・低始動電流形 ・その他（ ） 5) 電源 ・商用電源（60Hz） ・200V・100V ・単独電源（太陽電池式・風車式） ・その他（ ） （点灯時間（ ）時間、不日照保証日数（ ）日） ・その他（ ） 6) 制御 ・Eモーター ・タイマ ・その他（ ） 7) 接地 ・単独接地（本工事） ・別途工事 ・既設利用 ・共用 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td>・一般型 ・防水型 ・ハイテンションアウトレット（固定型・上下動型（アップ式を含む））</td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td>(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り合い</td> <td>・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他（壁の更新）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 負荷設備</td> <td>・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(4) 負荷設備への接続</td> <td>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 電動機等の接地</td> <td>・専用接地 ・金属管接地（7.5kV以下）</td> </tr> <tr> <td>(6) 電動機等の力率の改善</td> <td>本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>(7) 保護継電器</td> <td>過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。</td> </tr> <tr> <td>(8) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>(1) 避雷針 (2) 避雷保護線 (3) 接地抵抗の測定 (4) 接地極埋設機</td> </tr> <tr> <td>(1) 避雷針</td> <td>1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・空木等の別途施工物 2) 避雷保護線 ・引下げ導線 ・建築構造物体利用 3) 接地極 ・接地極埋設機 ・建築構造物体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・（ ）回 5) 接地極埋設機を設置する。</td> </tr> <tr> <td>(2) 避雷保護線</td> <td>1) 耐雷トランス ・設置（単相用・動力用） ・設置しない 2) SPD ・低圧用（クラスI・クラスII） ・通信用（カテゴリC2・カテゴリD1） 3) 低圧用SPDのカテゴリIの性能 別図による 4) 通信用SPDのカテゴリD1の性能 別図による</td> </tr> <tr> <td>(3) 接地抵抗の測定</td> <td>1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合は配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 通信回線の保護</td> <td>電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td>(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機</td> </tr> <tr> <td>(1) 接地工事</td> <td>1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 接地抵抗の測定</td> <td>1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・（ ）回</td> </tr> <tr> <td>(3) 接地極埋設機</td> <td>接地には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td>【受変電設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 受変電設備</td> <td>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り合い</td> <td>・無し ・改造（機器取替、追加等を含む） ・増設 ・配線接続 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td>1) 形式 ・キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・高圧スイッチギア（JIS 1425）（・CX ・CW ・PW ・MW） 2) 中通路 ・有 ・無し 3) 特記事項 （ ）</td> </tr> <tr> <td>(4) 交流遮断器</td> <td>真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し</td> </tr> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具	(1) 既設等との取り合い	・無し ●配線接続 ・電源供給 ・その他（ ）	(2) 機器類	●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯（単独設置） ・コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）	(3) 一般照明器具	1) 形式 ・公共型 ●一般型 2) 灯具 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・HID灯 ・その他（ ） 3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防炎用 4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がフロアランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他（ ） 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他（ ）	(5) 外灯（単独設置）	1) 照明用ポール ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他（ ） ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・その他（ ） 4) 安定器 ・電圧高力率形（BH） ・低始動電流形 ・その他（ ） 5) 電源 ・商用電源（60Hz） ・200V・100V ・単独電源（太陽電池式・風車式） ・その他（ ） （点灯時間（ ）時間、不日照保証日数（ ）日） ・その他（ ） 6) 制御 ・Eモーター ・タイマ ・その他（ ） 7) 接地 ・単独接地（本工事） ・別途工事 ・既設利用 ・共用 ・その他（ ）	(6) コンセント等	・一般型 ・防水型 ・ハイテンションアウトレット（固定型・上下動型（アップ式を含む））	(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。	2. 動力設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等	(1) 既設との取り合い	・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他（壁の更新）	(2) 機器類	・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）	(3) 負荷設備	・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他（ ）	(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	(5) 電動機等の接地	・専用接地 ・金属管接地（7.5kV以下）	(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。	(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。	(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。	3. 雷保護設備	(1) 避雷針 (2) 避雷保護線 (3) 接地抵抗の測定 (4) 接地極埋設機	(1) 避雷針	1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・空木等の別途施工物 2) 避雷保護線 ・引下げ導線 ・建築構造物体利用 3) 接地極 ・接地極埋設機 ・建築構造物体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・（ ）回 5) 接地極埋設機を設置する。	(2) 避雷保護線	1) 耐雷トランス ・設置（単相用・動力用） ・設置しない 2) SPD ・低圧用（クラスI・クラスII） ・通信用（カテゴリC2・カテゴリD1） 3) 低圧用SPDのカテゴリIの性能 別図による 4) 通信用SPDのカテゴリD1の性能 別図による	(3) 接地抵抗の測定	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合は配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。	(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。	4. 接地設備	(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機	(1) 接地工事	1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り（ ）	(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・（ ）回	(3) 接地極埋設機	接地には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	【受変電設備】		5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。	(1) 既設との取り合い	・無し ・改造（機器取替、追加等を含む） ・増設 ・配線接続 ・その他（ ）	(2) 機器類	・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他（ ）	(3) 盤類	1) 形式 ・キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・高圧スイッチギア（JIS 1425）（・CX ・CW ・PW ・MW） 2) 中通路 ・有 ・無し 3) 特記事項 （ ）	(4) 交流遮断器	真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し	<p>(5) 断路器</p> <p>1) 形式 ・3極単投 ・単極単投（避雷器用に限る） 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック操作（避雷器用に限る）</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ② 開流ヒューズ ・有（ストライカ付） ・無し ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無し ④ 本体及び制御部 ・ステンレス製 ・鋼製 ⑤ 保護装置 ・過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑥ 避雷器 ・内蔵 ・無し 3) 引込柱用 保護装置は、過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有 ・最大値指針 ・有 ・最大値指針 ・無し ・無し 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ</p> <p>1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル（進相コンデンサ用）</p> <p>1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% ・1.3% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>(12) 基礎</p> <p>(13) 配線ビット及び蓋</p> <p>(14) 設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 整流装置</p> <p>1) 出力電圧 直流（・12V ・24V ・48V ・（ ）V） 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池（・HS ・MSE ・長寿命形MSE） ・アルカリ蓄電池（・AH ・AMH） ・その他（ ） 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・（ ）℃ 停電補償時間（ ）</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 (2) 容量 (3) 給電方式 (4) 整流装置等 (5) 蓄電池</p> <p>1) 出力電圧 直流（・12V ・24V ・48V ・（ ）V） 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池（・HS ・MSE ・長寿命形MSE） ・アルカリ蓄電池（・AH ・AMH） ・その他（ ） 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・（ ）℃ 停電補償時間（ ）</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 機能 (3) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池 2) 容量 （ ）kVA 3) 期待寿命 （ ）年 4) 充放電回数 （ ）回 5) 放電時間 （ ）時間 6) 補償機能 ・製造者標準 ・その他（ ）</p> <p>(4) 性能</p> <p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式（200V・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（200V・100V・（ ）V） 2) 自立運転 ・する ・しない 3) 系統連系 ・する ・しない</p> <p>(5) 計測表示</p> <p>遠方監視用接点 ・設けない ・設ける（詳細は別図による）</p> <p>(6) 状態・警報表示</p> <p>移転用の遠方監視用接点の接続を必須とする。</p> <p>9. 分電盤</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料系発電設備</p> <p>(1) 用途 (2) 区分 (3) 機器 (4) 発電装置</p> <p>1) 用途 ・防災電源専用（防災認定品） ・防災電源兼用（防災認定品） ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用 ・屋内 ・屋外 ・普通地域 ・塩害地域</p> <p>(3) 機器 ・発電装置 ・燃料槽 ・燃料槽ポンプ ・その他（ ）</p> <p>(4) 発電装置</p> <p>1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスタービン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式（・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m） 3) 始動時間（停電検出後） ・10秒以内 ・40秒以内 ・（ ）秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上 ・72時間以上 ・その他（ ） 5) 発電機 ① 電気方式 ・三相3線式（・6.6kV ・200V ・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（200V・100V・（ ）V） ② 定格周波数 60Hz ③ 定格出力 （ ）kVA ④ 冷却方式 ・ラジエーター方式 ・冷却水循環式 ・その他（ ） 6) 原動機 ① 定格出力 （ ）kW以上 ・（ ）ps以上 ② 冷却方式 ・ラジエーター方式 ・冷却水循環式 ・その他（ ）</p> <p>(5) 燃料槽</p> <p>1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク（ ）リットル ・リットル 2) 燃料小出槽 ・燃料小出槽（ ）リットル ・主燃料槽（ ）リットル 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ・屋内 ・屋外（地上） ・地下埋設（・タンク室内埋設 ・直埋設） ② 形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク ③ 設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他（ ） ④ タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p> <p>(7) 給油ボックス</p> <p>1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他（ ） 2) 油量指示計 ・有 ・無し</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ</p> <p>1) 電動ポンプ ・前車ポンプ ・油中ポンプ 2) 手動ポンプ（ウイングポンプ） ・有 ・無し 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無し</p> <p>(9) 基礎</p> <p>・本工事（・21N/mm² ・18N/mm²） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p>	<p>11. 太陽光発電設備</p> <p>(1) 機器 (2) 太陽電池アレイ (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 (4) 定格周波数 (5) 設置場所 (6) 設置方式 (7) 機能</p> <p>1) 発電能力 公称出力（ ）kW 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 3) 出力電気方式 ・三相3線式（200V・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（200V・100V・（ ）V） 4) 定格周波数 60Hz 5) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） 6) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他（ ） 7) 機能 ・系統連系（・高圧連系 ・みみし低圧連系 ・低圧連系） ・自立運転 ・その他（ ）</p> <p>(4) 情報処理装置</p> <p>(5) 仕様詳細</p> <p>仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備</p> <p>(1) 機器 (2) 風車発電装置 (3) 制御盤</p> <p>1) 風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他（ ） 2) 風車発電装置 発電能力 定格出力（ ）kW 3) 制御盤 1) 出力電気方式 ・三相3線式（200V・（ ）V） ・単相3線式（200/100V） ・単相2線式（200V・100V・（ ）V） 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） 4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他（ ） 5) 機能 ・系統連系（・高圧連系 ・みみし低圧連系 ・低圧連系） ・自立運転 ・その他（ ）</p> <p>(4) 支持構造物</p> <p>(5) 情報処理装置</p> <p>(6) 仕様詳細</p> <p>仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。</p> <p>13. その他発電設備</p> <p>（ ）の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>14. 構内情報通信網設備</p> <p>(1) インターフェース (2) 機器 (3) ケーブル (4) アウトレット</p> <p>1) LAN ・1000BASE-T ・無線LAN（ ） 2) WAN （ ）</p> <p>(2) 機器 ・スイッチ ・ルータ ・メディアコンバータ ・ファイアウォール ・時刻同期装置 ・ネットワーク管理装置 ・機器収納ラック ・アウトレット ・その他（ ）</p> <p>(3) ケーブル 1) 幹線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他（ ） 2) 支線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他（ ） 3) フロア系 ・UTP ・その他（ ）</p> <p>(4) アウトレット ・ローテーションアウトレット（固定型・上下動型（アップ式を含む）） ・壁コンセント ・その他（ ）</p> <p>15. 構内交換設備</p> <p>(1) 機器 (2) 交換装置</p> <p>1) 機器 ・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット ・その他（ ） 2) 交換装置 1) 種別 ・構内交換装置（・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ） ・その他（ ） 2) 局線対応方式 ・局線中継台方式 ・分散中継台方式 ・ダイヤルイン方式 ・ダイレクトインダイヤル方式 ・ダイレクトインライン方式 ・その他（ ） 3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 4) 本配電盤（MDF） ・自立フレーム（・片面形 ・両面形） ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他（ ） 5) 電源装置 ① 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他（ ）以上 ② 停電補償時間 ・30分以上</p> <p>(3) 電話機 ・一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機 ・デジタルコードレス電話機（PHS方式） ・IPコードレス電話機（無線LAN方式） ・その他（ ）</p> <p>(4) 端子盤類</p> <p>(5) アウトレット ・ローテーションアウトレット（固定型・上下動型（アップ式を含む）） ・壁コンセント ・その他（ ）</p> <p>16. 情報表示設備</p> <p>(1) 設備 (2) マルチサイン装置 (3) 出退表示装置 (4) 時刻表示装置</p> <p>1) 設備 ・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置</p> <p>(2) マルチサイン装置</p> <p>1) 機器 ・操作制御部 ・情報表示部 ・その他（ ） 2) 通信方式 ・TCP/IP ・その他（ ） 3) 操作制御部 ・イメージスキャナ ・有 ・無し 4) 情報表示部 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他（ ）</p> <p>(3) 出退表示装置</p> <p>1) 機器 ・制御装置 ・出退表示部 ・その他（ ） 2) 出退表示部 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他（ ）</p> <p>(4) 時刻表示装置</p> <p>1) 機器 ・時計計 ・時計計 ・電源装置 ・単独時計 ・その他（ ） 2) 時計計 ① 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・ラックマウント型（ラック架組込） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ③ 回線数 （ ）回線 ④ 機能 ・電子チャイム（ ）曲 （引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。） ・アナログ式 ・デジタル式</p> <p>3) 時計計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） ③ 時刻補正機能 ・有 ・無し</p> <p>4) 電源装置 運転可能時間（・10時間 ・その他（ ）時間）</p> <p>5) 単独時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） ③ 時刻補正機能 ・有 ・無し</p> <p>(5) 警報等表示装置</p> <p>1) 機器 ・表示部 ・検出装置 ・その他（ ） 2) 表示部 ① 表示方式 ・表示窓式 ・その他（ ） ② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) 検出装置 ① 検出方式 ・無電圧接点 ・その他（ ） ② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																																																																						
【電力設備】																																																																							
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い (2) 機器類 (3) 一般照明器具																																																																						
(1) 既設等との取り合い	・無し ●配線接続 ・電源供給 ・その他（ ）																																																																						
(2) 機器類	●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯（単独設置） ・コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）																																																																						
(3) 一般照明器具	1) 形式 ・公共型 ●一般型 2) 灯具 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・HID灯 ・その他（ ） 3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防炎用 4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がフロアランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																																																																						
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他（ ） 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他（ ）																																																																						
(5) 外灯（単独設置）	1) 照明用ポール ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他（ ） ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・その他（ ） 4) 安定器 ・電圧高力率形（BH） ・低始動電流形 ・その他（ ） 5) 電源 ・商用電源（60Hz） ・200V・100V ・単独電源（太陽電池式・風車式） ・その他（ ） （点灯時間（ ）時間、不日照保証日数（ ）日） ・その他（ ） 6) 制御 ・Eモーター ・タイマ ・その他（ ） 7) 接地 ・単独接地（本工事） ・別途工事 ・既設利用 ・共用 ・その他（ ）																																																																						
(6) コンセント等	・一般型 ・防水型 ・ハイテンションアウトレット（固定型・上下動型（アップ式を含む））																																																																						
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。																																																																						
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等																																																																						
(1) 既設との取り合い	・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他（壁の更新）																																																																						
(2) 機器類	・分電盤、制御盤等 ・その他（ ）																																																																						
(3) 負荷設備	・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他（ ）																																																																						
(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。																																																																						
(5) 電動機等の接地	・専用接地 ・金属管接地（7.5kV以下）																																																																						
(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。																																																																						
(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。																																																																						
(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。																																																																						
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 (2) 避雷保護線 (3) 接地抵抗の測定 (4) 接地極埋設機																																																																						
(1) 避雷針	1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・空木等の別途施工物 2) 避雷保護線 ・引下げ導線 ・建築構造物体利用 3) 接地極 ・接地極埋設機 ・建築構造物体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・（ ）回 5) 接地極埋設機を設置する。																																																																						
(2) 避雷保護線	1) 耐雷トランス ・設置（単相用・動力用） ・設置しない 2) SPD ・低圧用（クラスI・クラスII） ・通信用（カテゴリC2・カテゴリD1） 3) 低圧用SPDのカテゴリIの性能 別図による 4) 通信用SPDのカテゴリD1の性能 別図による																																																																						
(3) 接地抵抗の測定	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合は配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。																																																																						
(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。																																																																						
4. 接地設備	(1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設機																																																																						
(1) 接地工事	1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り（ ）																																																																						
(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・（ ）回																																																																						
(3) 接地極埋設機	接地には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。																																																																						
【受変電設備】																																																																							
5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。																																																																						
(1) 既設との取り合い	・無し ・改造（機器取替、追加等を含む） ・増設 ・配線接続 ・その他（ ）																																																																						
(2) 機器類	・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他（ ）																																																																						
(3) 盤類	1) 形式 ・キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・高圧スイッチギア（JIS 1425）（・CX ・CW ・PW ・MW） 2) 中通路 ・有 ・無し 3) 特記事項 （ ）																																																																						
(4) 交流遮断器	真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し																																																																						
<p>特記</p>	<table border="1"> <tr> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	月	日			<p>U 建築設計</p> <p>三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>設計番号</p> <p>年月日</p> <p>縮尺</p> <p>NS</p>	<p>津市サンヒルズ安濃</p> <p>ハーモニーホール舞台照明設備改修工事</p> <p>電気設備工事特記仕様書（2）</p> <p>N0.</p> <p>E-02</p> <p>10</p> <p>原因：A2</p>																																																																
月	日																																																																						

<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 映像機器</p> <p>1) 表示機器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>1) 増幅器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>1) 形状</p> <p>2) 設置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>1) 検出方式</p> <p>2) 設置場所</p> <p>3) 機能</p> <p>4) 機器</p> <p>5) 制御装置</p> <p>6) 送信機</p> <p>7) 受信機</p> <p>(3) インターホン</p> <p>1) 用途</p> <p>2) 機能</p> <p>3) 通話機</p> <p>4) 通話方式</p> <p>5) 設置</p> <p>6) 親機</p> <p>7) 子機</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>1) 用途</p> <p>2) 機器</p> <p>3) 親機</p> <p>4) 呼出スイッチ</p> <p>5) 音響装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>1) 放送</p> <p>2) マスト</p> <p>3) 自立用基礎</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>1) 放送</p> <p>2) マスト</p> <p>3) 自立用基礎</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>1) 色方式</p> <p>2) 駆動方式</p> <p>3) 撮影条件</p> <p>4) 設置場所</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>1) 色方式</p> <p>2) モニタ</p> <p>3) 設置</p> <p>(5) 録画装置</p> <p>1) 記憶媒体</p> <p>2) 記憶容量</p> <p>3) 時刻補正機能</p>	<p>23. 駐車場管制設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カーゲート</p> <p>24. 防犯・入退室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入退室管理装置</p> <p>1) 機器</p> <p>2) センサ</p> <p>3) 制御装置</p> <p>4) 機能</p> <p>(3) 入退室管理装置</p> <p>1) 機器</p> <p>2) 制御装置</p> <p>3) 認識部</p> <p>4) セキュリティゲート</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>1) 消防法基準適合マークとする。</p> <p>2) 機器</p> <p>3) 増幅器</p> <p>4) スピーカ</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 非中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(5) ハンドホール、マンホール</p> <p>(6) 鉄筋蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール、マンホール</p> <p>(5) 鉄筋蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p> <p>1) 設置</p> <p>2) 消火器</p> <p>3) 消火器収納箱</p>	<p>III. 機器標準取付高さ</p> <p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電力</th> <th>名称</th> <th>側点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>取引用計器</td> <td>床下～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込閉閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電灯</td> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td>○1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td>○400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保安盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時計・拡声</td> <td>壁掛型観時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td>2,500mm</td> </tr> <tr> <td>アッテネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">表示</td> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル、ブザー、チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">インターホン</td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950</td> <td>便座先端から後方へ100～200mm 2目目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td>機器収納箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</p> <p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承認を得ること。 ※ 作業着手までの調査は、事前に施設管理者及び市監督員の承認を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。 ※ 本工事と同時に別途天井改修工事が計画されているため、施工時期、現場管理等について別途受注業者と綿密に調整を図ること。 ※ ホール客席については別途天井改修工事の足場を無償にて使用することができる。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復帰するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p>	電力	名称	側点	取付高さ (mm)	備考		接地端子盤	床下～下端				取引用計器	床下～窓中心	1,800～2,000			引込閉閉器	床下～中心	1,800～2,000		電灯	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	スイッチ	床下～中心	1,300	○1,000mm	コンセント (一般)	床下～中心	300	○400mm	コンセント (和室)	床下～中心	200		コンセント (台上)	床下～中心	150		コンセント (WP)	床下～中心	1,000		コンセント (地下)	床下～中心	1,000		コンセント (土間)	床下～中心	500		ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300		ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500		動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	手元開閉器	床下～中心	1,500		操作スイッチ	床下～中心	1,300		電話	端子盤	床下～下端	300		保安盤	床下～中心	2,000		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		時計・拡声	壁掛型観時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm	子時計	床下～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm	アッテネータ	床下～中心	1,300		表示	表示器	床下～中心	2,300		壁付発信器	床下～中心	1,300		ベル、ブザー、チャイム	床下～中心	2,300		壁付インターホン	床下～中心	1,300		壁位置ボックス	床下～中心	300		インターホン	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		子機 (身障者用)	床下～中心	1,100		呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2目目 (高700mm、便座先端から前方400mm)	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800		テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000			直列ユニット	床下～中心	300			直列ユニット (和室)	床下～中心	200		火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500		発信器	床下～中心	1,300		表示灯	床下～中心	1,800			ベル	床下～中心	2,300	
電力	名称	側点	取付高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																						
	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																																																																								
	取引用計器	床下～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																							
	引込閉閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																							
電灯	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																						
	スイッチ	床下～中心	1,300	○1,000mm																																																																																																																																																																																						
	コンセント (一般)	床下～中心	300	○400mm																																																																																																																																																																																						
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																							
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																																																																																							
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																							
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																							
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																																																																																							
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																																							
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																																							
ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																																																																								
動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																						
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																							
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																							
電話	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																																																																							
	保安盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																							
時計・拡声	壁掛型観時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																						
	子時計	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																							
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm																																																																																																																																																																																						
アッテネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
表示	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																							
	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																							
	ベル、ブザー、チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																							
	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																																							
インターホン	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																							
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																																																																							
	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2目目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																																																																						
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																							
	テレビ	機器収納箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																						
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																																																																							
	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																							
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																							
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																							
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																							
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																							
<p>特記</p>	<p>月</p> <p>日</p>	<p>U 建築設計</p> <p>三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>一級建築士事務所 一級建築士第248160号</p> <p>登録番号(1)第2118号 内田 貴之</p>	<p>設計番号</p> <p>年月日</p> <p>縮尺</p> <p>NS</p> <p>津市サンヒルズ安濃</p> <p>ハーモニーホール舞台照明設備改修工事</p> <p>電気設備工事特記仕様書 (3)</p> <p>N0.</p> <p>E-03</p> <p>10</p> <p>原因:A2</p>																																																																																																																																																																																							



附近見取図

工事場所



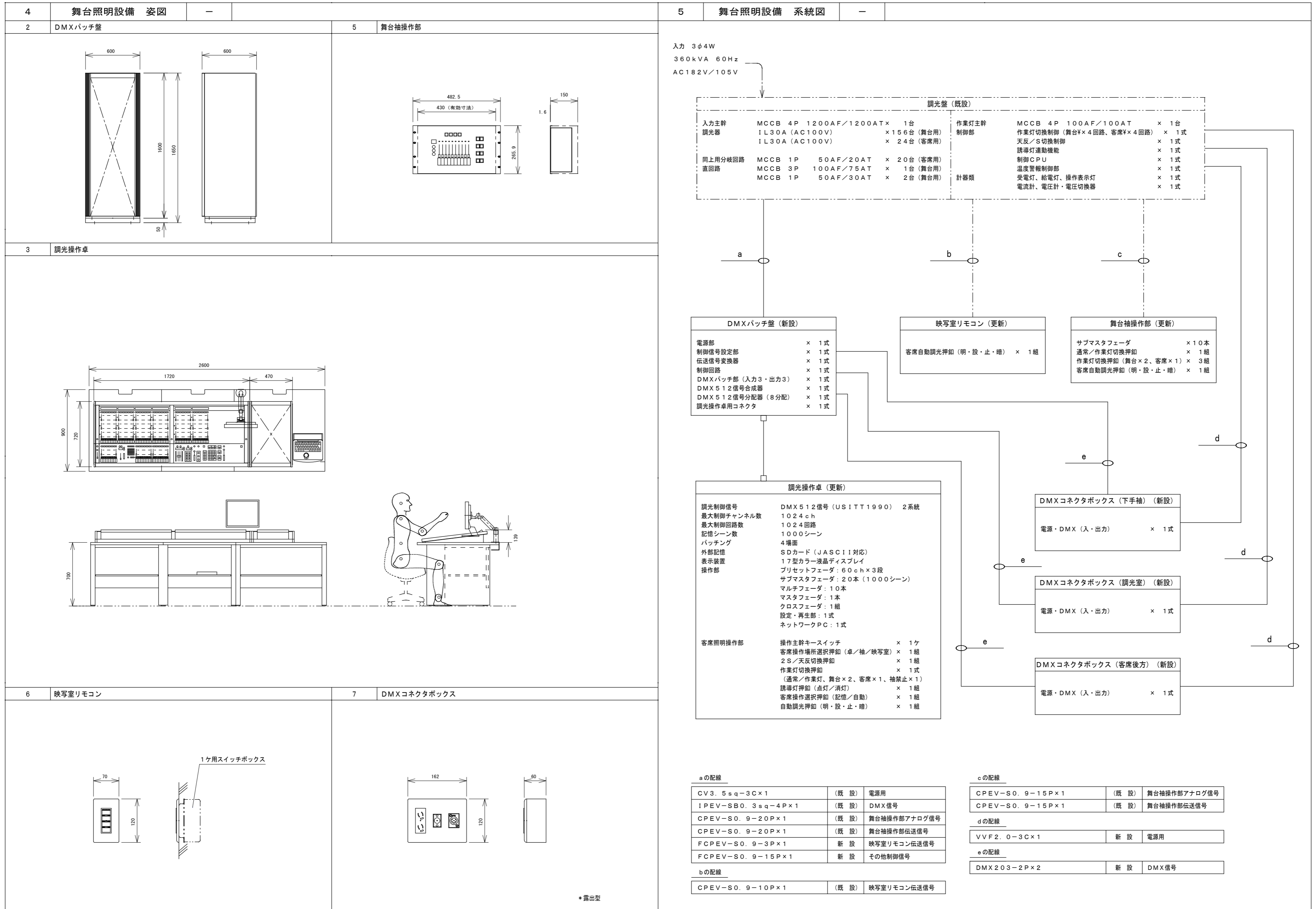
配置図 1/600

改修対象建物

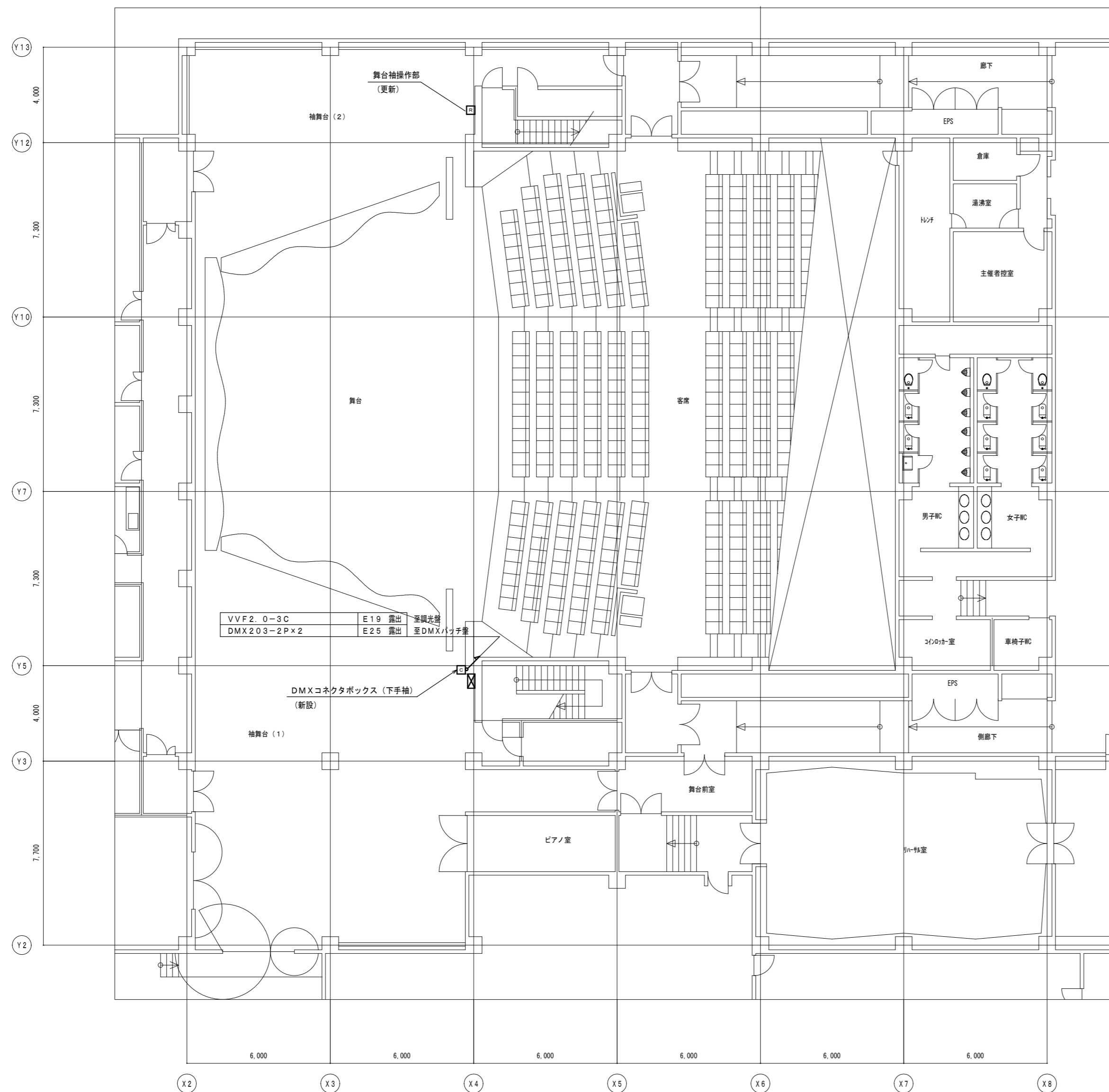
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台照明設備改修工事	NO. E-04
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/600		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				付近見取図・配置図	10

<p>1 舞台照明設備 特記仕様書</p> <p>1 > 工事概要 本工事は、津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール舞台照明設備の内、調光操作卓及び舞台袖操作部の老朽化に伴い取替及びDMXパッチ盤の新設、調整を行うものとする。 その他調光盤（一部改造）、舞台照明器具類は既設流用とする。</p> <p>2 > 工事範囲 本工事範囲は、下記仕様書によるものとし、機器搬入及び取付調整とする。 尚、本仕様書、図面、内訳書等に記載されていない事項でも工事にあたって外観、機能及び技術上当然必要と判断されるものについては、請負者の負担にて入念に施工するものとする。 工事にあたっては施設及び施設内設備に損傷を与えた場合は、監督員の指示により復旧するものとする。</p> <p>3 > その他 本図面の仕様にて、製造者による軽微な差異は、監督員の承諾を受け、変更することが出来るものとする。 本図面での変換・寸法は参考とする。 尚、本工事は舞台照明設備一部改修につき、納入機器は既設設備（パナソニック製）との接続に考慮し、既設舞台照明設備システムを理解したうえで設定・更新試験調整を行うものとする。 更新後は、調光操作卓・既設調光盤・既設舞台照明器具のトータルシステム保障が出来る様考慮するものとする。</p>	<p>2 機器仕様書（1）</p> <p>1 調光盤 【既設改造】</p> <p>1. 調光盤は既設利用とし、更新を行う調光操作卓等の操作系機器からの調光制御信号にて、正常に動作が行えるようにするものとする。</p> <p>2 DMXパッチ盤 【新設】</p> <p>【制御機能】</p> <p>1. 調光操作卓・舞台袖操作部からの各制御信号を既設調光盤に対応する為の信号変換を行うものとする。</p> <p>2. DMX512信号の合成、分配、パッチを行うことができるものとする。</p> <p>【コネクタ機能】</p> <p>1. 盤内に調光操作卓用コネクタを設け、調光操作卓と調光盤の接続が容易にできるものとする。</p> <p>3 調光操作卓 【更新】</p> <p>[1] 演出照明操作部</p> <p>【定 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力電圧 AC100V±10% 50/60Hz ・最大制御回路数 1024回路 ・最大制御チャンネル数 1024チャンネル ・記憶キュー数 1000キュー（パートキュー含む） ・記憶キュー再生方式 ムーブクロス再生 ・キュー自動再生 GO/STOP/REVERSE ・パート同時再生 最大5パート ・サブマスタの記憶容量 20シーン×50ページ ・マルチフェーダ 10本 ・エフェクトパターン数 100パターン（トータル1000ステップ） ・パッチ場面数 4場面（2場面同時再生機能付） ・エフェクト同時再生 最大5パターン ・出力信号 DMX512（USITT1990） Ethernet ・外部記憶 SDカード ・表示装置 17型カラー液晶×1台 ・プリセットフェーダ数 60本×3段 1段使用モード時 180本×1段 ・チャンネルピアノスイッチ 60個 ・プリセット/フリースイッチ 60個 （P/Fスイッチ） ・レベルインジケータ 60個 ・バックアップ 制御CPU2重化 ・使用環境 周囲温度：0℃～40℃ 相対湿度45%～85% （但し結露しないこと） <p>【構 成】</p> <p>1. 操作部は設定部、再生部、サブマスタ部、プリセット部、マスタ部、エフェクト部、マルチフェーダ部等の機能別構成とする。</p> <p>2. 設定部は、モードスイッチ×1式、カーソルスイッチ×1式、テンキー×1式、レベルウィール×1式等を配列するものとする。</p> <p>3. 再生部は、ムーブクロスフェーダ×1組、段選択押印×1式、シーン番号表示器×1式、シーン修正スイッチ×1式、次シーン送込スイッチ×1式、GO/STOP/REVERSEスイッチ×1式等を配列するものとする。</p> <p>4. サブマスタ部は、サブマスタフェーダ×20本、ページ選択スイッチ×1式、仕込選択スイッチ×20ヶ、ピアノスイッチ×20ヶ等を配列するものとする。</p> <p>5. プリセットフェーダ部は、プリセットフェーダ×60本×3段、レベルインジケータ×60ヶ、ピアノスイッチ×60ヶ、プリセット/フリースイッチ（P/Fスイッチ）×60ヶ等を配列するものとする。</p> <p>6. マスタ部は、グラントマスタフェーダ×1本等を配列するものとする。</p> <p>7. エフェクト部は、パターン・ステップ選択スイッチ×各1ヶ、エフェクトフェーダ×1本、タイムウィール×1本等を配列するものとする。</p> <p>8. マルチフェーダ部は、マルチフェーダ×10本、モード選択スイッチ×10ヶ、ピアノスイッチ×10ヶ等を配列するものとする。</p> <p>9. 操作中の照明状態やメモリの記憶内容が、表示装置にて確認できるものとする。</p> <p>【パッチング機能】</p> <p>1. チャンネル（1024CH）対ディマー（1024回路）を任意に選択接続できるものとする。接続は、表示装置上に舞台の負荷配列に従った負荷表示（グラフィック表示）を行い、カーソルスイッチ・テンキー等で設定できるものとする。</p> <p>2. パッチ場面は4場面設定できるものとし、そのうち2場面を高レベル優先にて合成再生できるものとする。</p> <p>3. 調光仕込み、個々払い、一括払いできるものとする。また、チャンネルとディマーを同一番号に設定する1：1仕込みもできるものとする。</p>	<p>4. パッチがセットされた状態で操作卓の電源をOFFしてもデータは保持されるものとする。</p> <p>5. 調光カーブは、リア固定とノンディムと任意8種類が設定でき、調光器毎に割り付けできるものとする。</p> <p>6. DMXノードを接続することにより、外部持込卓からのDMX512信号を取り込み、パッチング設定を行うことができるものとする。</p> <p>【手動再生機能】</p> <p>1. 60本×3段のプリセットフェーダとムーブクロスフェーダを用い手動プリセット調光操作が可能なものとする。</p> <p>2. 3段プリセット機能による明かりの設定方法に加え、1段から3段のプリセットフェーダを1段プリセット機能に切替えることにより、180チャンネルまでの明かりを一度に設定できるものとする。</p> <p>3. プリセットフェーダ毎にピアノスイッチを備え、各チャンネルの明かりを瞬時に出力できるものとする。ピアノスイッチの出力は、+/−のモード切換え可能なものとする。</p> <p>4. プリセットフェーダ毎にプリセット/フリースイッチ（P/Fスイッチ）を備え、各チャンネル制御を瞬時に一段のプリセットフェーダ（F：フリー）出力にできるものとする。</p> <p>5. プリセットフェーダのないチャンネルのレベル設定は、テンキーとレベルウィールにて行えるものとする。</p> <p>6. マルチフェーダは、各フェーダ毎に以下の機能を備え、選択スイッチにて切換ができるものとする。</p> <p>（1）段マスタフェーダ機能</p> <p>（2）チャンネルマスタフェーダ機能</p> <p>（3）フリーフェーダ機能</p> <p>（4）シーン再生機能</p> <p>【記憶機能】</p> <p>1. 最大1000キューの記憶が可能なものとする。</p> <p>2. 記憶の設定は、設定部やプリセットフェーダ等を使用して表示装置上のウィンドウメニューと対話しながら行えるものとする。</p> <p>3. フェードタイム・ディレイタイム・ウェイトタイムの時間指定が行えるものとし、各時間データは0～59分59秒（1分未満は0.1秒単位）の範囲で設定できるものとする。</p> <p>4. 明かりを出力しながら記憶するライブモードと明かりを出力しないブラインドモードのどちらでも記憶できるものとする。</p> <p>5. 実行していないプリセットフェーダを用いて作成したレベルを記憶できるものとし、記憶に使用する段は任意に指定できるものとする。</p> <p>6. パートはメインキューへの割り付けを含めて最大5パートの再生が可能とする。</p> <p>7. キューとは別に、20シーン×50ページのサブマスタが記憶できるものとする。</p> <p>8. 100ステップ100パターンのエフェクトが記憶できるものとする。</p> <p>9. エフェクトは1024チャンネル全てのチャンネルが使用できるものとする。</p> <p>10. エフェクトはキューとは別に最大1000ステップまで記憶できるものとする。</p> <p>11. キュー・サブマスタ・エフェクトステップは相互にコピー・交換できるものとし、アサイン割付も相互にできるものとする。</p> <p>【記憶修正・編集機能】</p> <p>1. 記憶されているキュー・サブマスタ・エフェクトのデータを設定部やプリセットフェーダにて修正できるものとする。</p> <p>2. 修正データは、モードスイッチの呼び出しは、本卓のムーブクロスフェーダ・Bの修正スイッチ操作で行えるものとする。</p> <p>3. サブマスタの修正は、サブマスタごとに設けた仕込み選択スイッチ操作で行えるものとする。</p> <p>4. 表示装置のチャンネルトラックシート上でカーソルを自由に移動して複数のキューに亘ってチャンネルレベルを修正できるものとする。また、エフェクトも同様に複数のステップに亘って修正できるものとする。</p> <p>5. キュー・サブマスタ・エフェクトのデータのコピー・削除・割り込みや、キューリンク指定、調光カーブデータのフェードカーブ割り付け等の編集操作が可能なものとする。</p> <p>【記憶再生機能】</p> <p>a. キュー再生</p> <p>1. ムーブクロスフェーダによる手動再生やGOスイッチによる自動再生が行えるものとする。</p> <p>2. パートが設定されている場合、同時に再生できるものとする。</p> <p>3. GOスイッチにて再生中にムーブクロスフェーダによる手動再生に切換可能なものとする。</p> <p>4. 自動再生中に次キューを進行させるマルチキュー再生ができるものとする。</p> <p>5. GOスイッチにて再生中のキューを一時停止や再スタートさせることができ、一時停止させたキューをフェード開始前の状態に戻すことが可能なものとする。</p> <p>b. プログラムマルチサブマスタフェーダによる再生</p> <p>1. サブマスタはページ選択画面表示スイッチを備え、合計50ページ×20本=1000シーンの記憶・再生が可能なものとする。</p> <p>2. 各々のサブマスタフェーダは以下の機能を備え、サブマスタフェーダごとの仕込み選択スイッチにて切換できるものとする。</p>	<p>（1）重ね合わせ再生機能</p> <p>（2）サブマスタクロス再生機能</p> <p>（3）エフェクト再生機能</p> <p>（4）任意の複数チャンネルのマスタフェーダ機能</p> <p>（5）フリーフェーダ機能</p> <p>（6）ページ選択で切り替わらないホールド機能</p> <p>3. 各々のサブマスタフェーダのシーンは、ピアノスイッチにより100%瞬時再生ができるものとする。（+/−機能付）</p> <p>6. エフェクト再生</p> <p>1. キューやパートに割りつけ、キューと連動して再生できるものとする。</p> <p>2. サブマスタフェーダに割りつけて、手動再生ができるものとする。</p> <p>3. エフェクトは同時に5個再生できるものとする。</p> <p>4. エフェクト再生部にて単独に1個のエフェクトが再生できるものとする。</p> <p>5. タイムウィールによりエフェクト再生中に速度変更できるものとする。</p> <p>【表示機能】</p> <p>1. 記憶されたデータの設定状態や動作状態は、モードスイッチ操作によりモニタ画面上に表示できるものとする。</p> <p>（1）ステータリスト （2）ブラインドリスト （3）パッチ画面</p> <p>（4）キュリスト （5）サブマスタリスト （6）エフェクトリスト</p> <p>（7）チャンネルトラックリスト （8）システムメニュー</p> <p>（9）各種ウィンドウメニュー</p> <p>【データの保存機能】</p> <p>1. パッチ・キュー・サブマスタ・エフェクトの記憶内容をSDカードに保存することができるものとする。</p> <p>2. 個別のデータまたは全てのデータをメニューで選択して保存したり読み込むことができるものとする。</p> <p>3. SDカードを介して、JASCI1データの読み書きができるものとする。</p> <p>【バックアップ機能】</p> <p>1. CPUを2セット実装し、調光卓にトラブルが発生し、調光出力が行えなくなった場合、切換操作で直前の操作を引き続き操作できるものとする。</p> <p>2. 2セットのCPUは切替スイッチ状態に応じてノーマル側/バックアップ側として動作し、バックアップ側はノーマル側の記憶内容や再生状態をモニタリングし、切替スイッチにてノーマル側になると即座に切替直前の状態から動作できるスタンバイ動作方式とし、万が一のトラブル等でも片側は正常に機能できるものとする。</p> <p>[2] 客席照明操作部</p> <p>【作業灯切換機能】</p> <p>1. 舞台照明及び客席照明の一部の回路を作業灯として切換え、強制的に直点灯させることができるものとする。</p> <p>【客席照明操作機能】</p> <p>1. 客席照明は、自動調光押印による自動調光操作、演出照明操作部による記憶操作のいずれかを選択し、操作できるものとする。</p> <p>2. 客席照明は、客席操作場所選択押印により、卓、舞台袖、映写室のいずれかを選択し、操作できるものとする。</p> <p>【誘導灯制御】</p> <p>1. 誘導灯連動回路を設定し、これらの回路の調光レベルが任意の値以下になった場合のみ、点灯・消灯押印で誘導灯の点滅操作ができるものとする。</p> <p>[3] ネットワークパソコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調光操作卓にネットワークパソコンを接続する事により、下記機能が追加されるものとする。 ・ネットワークパソコンのOSは、Windows搭載とする。 <p>【定 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大制御チャンネル 1024チャンネル ・最大制御回路数 1024回路 ・パッチ場面数 1000場面以上 ・記憶キュー数 12000キュー以上 ・外部記憶 パソコン本体に接続可能な記憶媒体 <p>【ネットワークパソコン機能】（ノートパソコン）</p> <p>1. 調光操作卓にLAN接続することで、ネットワークパソコンと調光卓が連動して動作できるものとする。</p> <p>2. ハードディスクにて1000場面以上の場面データが記憶できるものとし、パッチ場面の仕込操作が行えるものとする。</p> <p>3. キーボード・マウスにて各種選択操作や入力操作が可能なものとする。</p> <p>4. 舞台の負荷配列に従った負荷表示（グラフィック表示）を選択してチャンネルレベルの設定ができるものとする。</p> <p>5. 直仕込み・調光カーブ割り付け・上限出力（プロポーションレベル）が設定できるものとする。</p> <p>6. チェンジ・割り込み等のパッチ編集操作機能を備えるものとする。</p>	<p>7. パッチ場面毎に、キュー・サブマスタ・エフェクトの記憶データが記憶できるものとし、実行場面変更にて連動して切換するものとする。</p> <p>8. 1000種類の負荷グループ設定を持ち、負荷グループ指定にてパッチやレベル指定ができるものとする。</p> <p>9. 1000種類のライブラリーシーンを持ち、ライブラリーシーンを組合せ再生してシーンが作成できるものとする。</p> <p>10. LAN未接続時はオフライン仕込として使用できるものとする。</p> <p>11. パソコンに接続可能な記憶媒体（SD・USBメモリー等）に調光操作卓のデータが保存できるものとする。</p> <p>12. パソコンに接続可能な記憶媒体を介して、JASCI1データの読み書きができるものとする。</p> <p>13. 表示は、舞台の負荷配列に従った負荷表示（グラフィック表示）とする。</p> <p>4 調光操作卓用コネクタ 【撤去】</p> <p>1. 調光操作卓用コネクタは撤去するものとする。 撤去による開口部は、プレート等で処理するものとする。</p> <p>5 舞台袖操作部 【更新】</p> <p>【サブマスタフェーダ操作機能】</p> <p>1. サブマスタ操作は調光操作卓にてサブマスタ操作場所選択押印の舞台袖を選択した時に調光操作卓で記憶したサブマスタシーンを再生することができるものとする。</p> <p>【作業灯切換機能】</p> <p>1. 客席照明の一部の回路を作業灯として切換え、強制的に直点灯させることができるものとする。</p> <p>【客席照明操作機能】</p> <p>1. 客席照明は、調光操作卓にて舞台袖を選択時、自動調光押印による調光操作ができるものとする。</p> <p>6 映写室リモコン 【更新】</p> <p>【客席照明操作機能】</p> <p>1. 客席照明は、調光操作卓にて映写室を選択時、自動調光押印による調光操作ができるものとする。</p> <p>7 DMXコネクタボックス 【新設】</p> <p>1. DMX機器とDMXパッチ盤の接続が行えるものとする。</p>	
<p>特記</p>	<p>月 日</p>	<p>U 建築設計</p> <p>三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>一級建築士事務所 一級建築士第248160号</p> <p>登録番号（1）第2118号 内田 貴之</p>	<p>設計番号</p> <p>年 月 日</p> <p>縮尺</p> <p>NS</p>	<p>津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台照明設備改修工事</p> <p>舞台照明設備 特記仕様書・機器仕様書（1）</p>	<p>NO.</p> <p>E-05</p> <p>10</p> <p>原図：A2</p>

3		機器仕様書(2)		-								
番号	名称	【改修前】			【改修後】			工事区分				
		仕様	数量	備考	仕様	数量	備考	既設	更新	新設	撤去	
1	調光盤	壁据付型	1面		※更新調光操作卓とのシステム制御信号運動ができるよう、一部改造を施すこと。	1面		○				
		入力電源 AC 3φ4W 182V/105V 60Hz (360kVA)										
		入力主幹 MCCB 4P 1200AF/1200AT (モータードライブ)										
		調光器 1L30A (AC100V)	× 156台	舞台用 MCCB1P40AT付 (内予備9台)								
		調光器 1L30A (AC100V)	× 24台	客席用 MCCB1P40AT付 (内予備14台)								
		同上用分岐回路 MCCB 1P 50AF/20AT	× 20台	客席用 2分岐								
		直回路 MCCB 3P 100AF/75AT (3φ173V)	× 1台	舞台用 CPS								
		直回路 MCCB 1P 50AF/30AT (100V)	× 2台	舞台用								
		直回路 MCCB 1P 50AF/20AT (100V)	× 1台	制御用	直回路 MCCB 1P 50AF/20AT (100V)	× 3台	制御用					
		作業灯入力主幹 MCCB 4P 100AF/100AT	× 1台									
		作業灯切換制御	× 1式	舞台×4回路、客席×4回路	不使用 (新設制御部による信号制御)							
		天反/S切換制御	× 1式	8回路								
		誘導灯連動機能	× 1式	接点出力×2	不使用 (新設制御部による信号制御)							
		制御CPU	× 1式									
温度警報制御部	× 1式											
受電灯、給電灯、操作表示灯	× 1式											
電流計、電圧計・電圧計切換器	× 1式											
2	DMXパッチ盤				EIAラック型	1面						
					電源部	× 1式						
					制御信号設定部	× 1式						
					伝送信号変換器	× 1式						
					制御回路	× 1式						
					DMXパッチ部 (DMX入力×4、DMX出力×4)	× 1式	DMXパッチケーブル×6本					
					DMX512信号合成器	× 1式						
					DMX512信号分配器 (8分配)	× 1式						
					調光操作卓用コネクタ (電源・DMX・制御)	× 1式						
3	調光操作卓	卓上型	1台		卓上型 (専用デスク付)	1台		○				
		調光制御信号 DMX512信号	× 1組		調光制御信号 DMX512信号 (USITT1990)	× 2系統	Ethernet					
		制御チャンネル 64ch			制御チャンネル 1024ch							
		最大制御回路数 192回路			最大制御回路数 1024回路							
		記憶シーン数 1000シーン			記憶シーン数 1000シーン		場面毎 (3場面計600シーン)					
		パッチング 4場面			パッチング 4場面							
		外部記憶 3.5インチフロッピー			外部記憶 SDカード (JASCI1対応)							
		表示装置 14インチカラーCRT	× 2台		表示装置 17型カラー液晶ディスプレイ							
		プリセットフェーダ	60本× 3段		プリセットフェーダ (60ch)	× 3段	180本×1段も可能					
		サブマスタフェーダ	× 20本	50ページ	サブマスタフェーダ	× 20本	1000シーン					
		マスタフェーダ	× 1本		マルチフェーダ	× 10本						
		クロスフェーダ	× 1組		マスタフェーダ	× 1本						
		設定部	× 1式		クロスフェーダ	× 1組						
		客席照明操作部	× 1式		設定部	× 1式						
		ワイヤレス操作部	× 1式		再生部	× 1式						
					客席照明操作部	× 1式						
			ネットワークPC	× 1式								
			DMXノード (中継ケーブル付)	× 1式								
			接続コード (5m)・デスク・椅子・卓カバー付	× 1式								
4	調光操作卓用コネクタ	壁埋込型	1台									
		電源・制御	× 1式									
5	舞台袖操作部	組込型	1台		組込型	1台		○				
		サブマスタフェーダ	× 10本	操作可能表示灯付	サブマスタフェーダ	× 10本	ページ選択スイッチ付					
		通常/作業灯切換押釦	× 1組		通常/作業灯切換押釦	× 1組						
		作業灯切換押釦	× 3組	舞台×2、客席×1	作業灯切換押釦	× 3組	舞台×2、客席×1					
客席自動調光押釦	× 1組	明・設・止・暗	客席自動調光押釦	× 1組	明・設・止・暗							
6	映写室リモコン	プレート型	1台		プレート型	1台		○				
		客席自動調光押釦	× 1組	明・設・止・暗	客席自動調光押釦	× 1組	明・設・止・暗					
7	DMXコネクタボックス				プレート (露出) 型	3台						
					電源・DMX (入・出力)	× 1式	下手袖、客席後方、調光室					



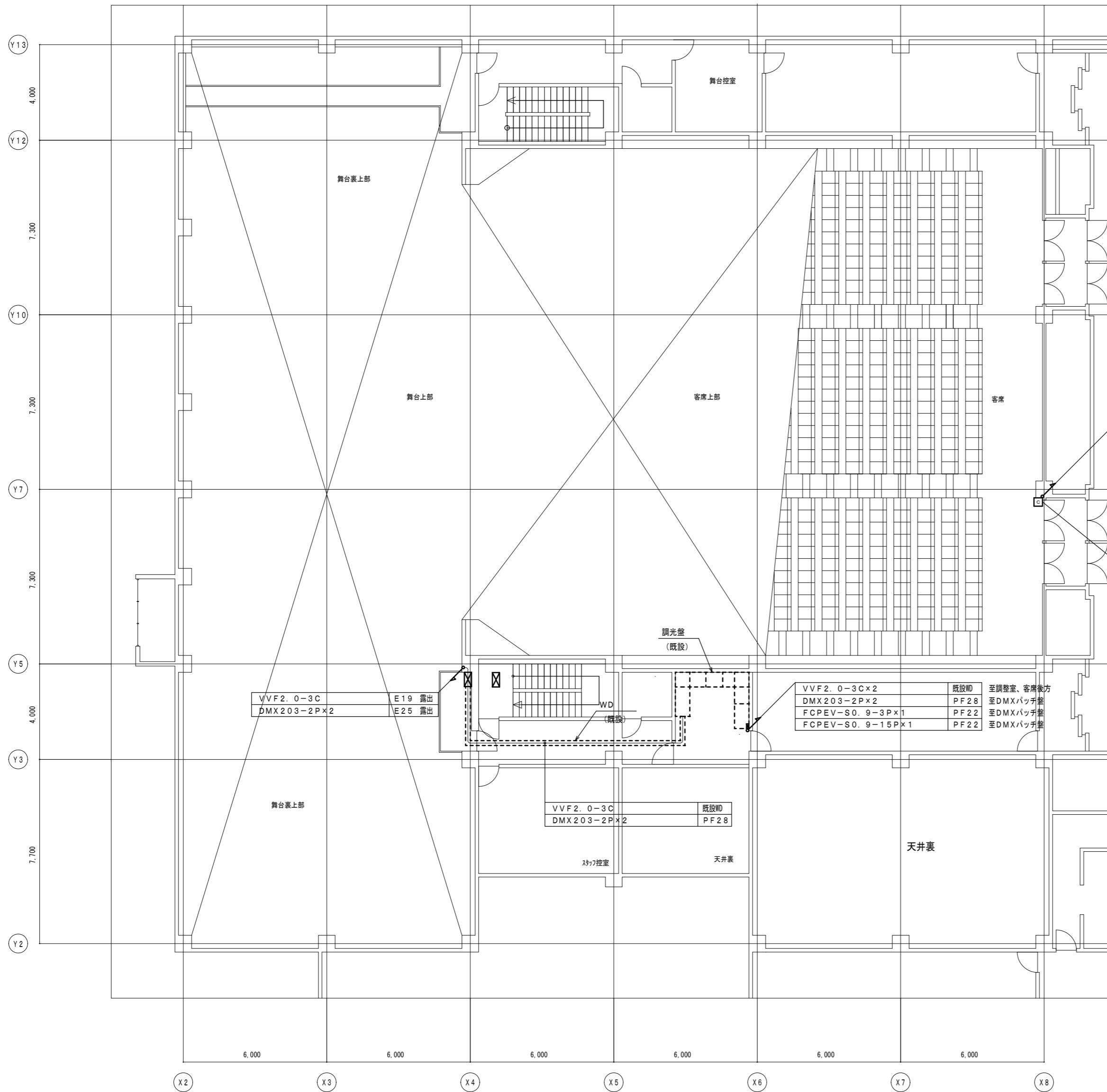
参考



■特記事項

1. 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
2. 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
3. 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分に行うものとする。

特記		月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台照明設備改修工事 舞台照明設備 1階平面図	N0.
					設計	1/150	E-08 10 原図:A2		



VVF2. 0-3C	PF16	至調光盤
DMX203-2P×2	PF22	至DMXパッチ盤

DMXコネクタボックス (客席後方)
(新設)

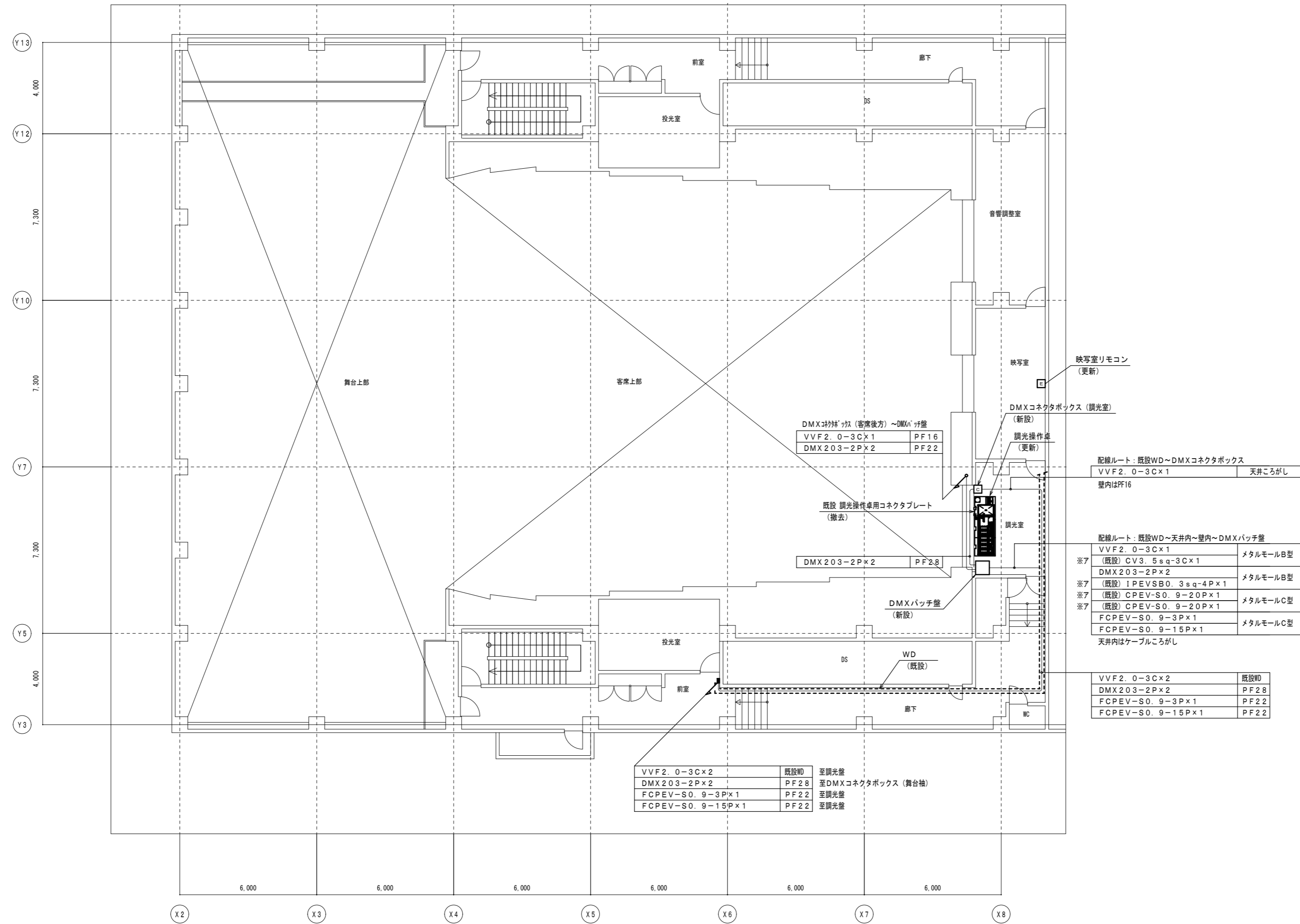
VVF2. 0-3C	E19 露出
DMX203-2P×2	E25 露出

VVF2. 0-3C×2	既設WD	至調整室、客席後方
DMX203-2P×2	PF28	至DMXパッチ盤
FCPEV-S0. 9-3P×1	PF22	至DMXパッチ盤
FCPEV-S0. 9-15P×1	PF22	至DMXパッチ盤

VVF2. 0-3C	既設WD
DMX203-2P×2	PF28

■特記事項

1. 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
2. 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
3. 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分に行うものとする。



■特記事項

1. 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
2. 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
3. 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分に行うものとする。
4. ※アのケーブルは、既設の調光操作卓用コネクタプレートに接続されている配線を外し、既設のWDまで引抜き、DMXパッチ盤へ再配線する。